

# OSSTech OpenLDAP 2.4

## リリースノート



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

更新日: 2016年5月12日  
リビジョン: 1.6

## 目次

<b>1. はじめに</b>	<b>1</b>
<b>2. パッケージ更新履歴</b>	<b>2</b>
<b>3. コミュニティ版との差異</b>	<b>5</b>
3.1 OSS テクノジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正.....	5
3.2 OSS テクノジ提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	5
3.3 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ.....	5

## 1. はじめに

本ドキュメントは、OSS テクノロジー提供の OpenLDAP パッケージの修正内容について記載しています。本ドキュメントの対象となる OpenLDAP パッケージは、**osstech-openldap-2.4.44-110** です。

このパッケージはコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.44 のソースコードをベースとしています。コミュニティ版のリリースノートについては次のページより確認してください。

<http://www.openldap.org/software/release/changes.html>

ご利用の OpenLDAP パッケージのバージョンの確認は次のコマンドで確認することができます。

```
$ rpm -qa | grep osstech-openldap  
osstech-openldap-2.4.44-110.el6.x86_64
```

## 2. パッケージ更新履歴

- 2016年4月14日 osstech-openldap-2.4.44-110
  - OpenLDAP 2.4.44 へのバージョンアップ
- 2016年1月5日 osstech-openldap-2.4.42-108
  - パスワードポリシー(履歴)の仕様改善
- 2015年12月23日 osstech-openldap-2.4.42-105
  - Berkeley DB 内のデータサイズ確認コマンド追加
- 2015年11月17日 osstech-openldap-2.4.42-102
  - OpenLDAP 2.4.42 へのバージョンアップ
- 2015年11月4日 osstech-openldap-2.4.41-101
  - スキーマファイル ad.schema の追加
- 2015年9月11日 osstech-openldap-2.4.41-98
  - 脆弱性(CVE-2015-6908)対応
- 2015年7月1日 osstech-openldap-2.4.40-91
  - セグメンテーション違反発生時、core ファイルが生成されるよう機能強化
- 2015年2月23日 osstech-openldap-2.4.39-81
  - 脆弱性(CVE-2015-1545)対応
- 2014年7月18日 osstech-openldap-2.4.39-75
  - OpenLDAP 2.4.39 へのバージョンアップ
- 2014年2月19日 osstech-openldap-2.4.35-74
  - シンタックスが Numeric String の属性に、数値的な大小比較ができるようなマッチングルールを追加
- 2014年2月13日 osstech-openldap-2.4.35-72
  - autogroup オーバーレイのバグ修正
- 2014年2月7日 osstech-openldap-2.4.35-71
  - パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの強化
- 2014年1月24日 osstech-openldap-2.4.35-70

- PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの強化({PBKDF2-SHA256}及び{PBKDF2-SHA512})に対応)
- 2013年12月4日 osstech-openldap-2.4.35-69
  - パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの追加
- 2013年12月4日 osstech-openldap-2.4.35-68
  - PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの追加
- 2013年8月13日 osstech-openldap-2.4.35-64
  - 起動スクリプトの修正
    - Red Hat Enterprise Linux 6 標準の OpenLDAP がインストールされている場合、LDAPS がポートリザーブされ、LDAPS 接続ができない可能性があるため slapd 起動前に portreserve を実行
  - デフォルト設定ファイルのタイプミスを修正
  - スキーマファイル openssh-lpk.schema の追加
    - OpenSSH 6.2 以降の sshd\_config(5) の AuthorizedKeysCommand 経由で参照する SSH 公開鍵情報を格納するための属性 sshPublicKey と オブジェクトクラス ldapPublicKey を定義するスキーマ(\$HOME/.ssh/authorized\_keys の代替)。
- 2013年4月18日 osstech-openldap-2.4.35-61
  - slapd が書き込み中に slapcat が不完全なデータを出力する問題を修正
    - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6365>
  - slapd.conf を修正
- 2013年4月2日 osstech-openldap-2.4.35-58
  - OpenLDAP 2.4.35 へのバージョンアップ
- 2013年3月15日 osstech-openldap-2.4.31-56
  - ns-mail.schema に mailAlternateAddress 属性及び mailHost 属性を追加
- 2012年10月19日 osstech-openldap-2.4.31-55
  - LDIF スクリプトを追加(ldifsortattr.pl)
- 2012年7月26日 osstech-openldap-2.4.31-54
  - バックアップ用 cron 設定ファイルのパーミッションを変更
  - ホスト名のメモリ管理の問題を修正
    - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=7270>

- gettimeofday()を再入可能にするための修正
  - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6262>
- 2012年6月1日 osstech-openldap-2.4.31-52
  - OpenLDAP 2.4.31 へのバージョンアップ
  - slapdpasswd で動的モジュールをロードするオプションを追加
  - Salted SHA-2 サポート
  - データベースのバックアップスクリプトを追加
  - LDIF スクリプトを追加(ldifdiff.pl, ldifunwrap.pl, ldifsort.pl)
  - Netscape Messaging Server 4.x のスキーマ定義ファイルを追加(ns-mail.schema)
  - サービススクリプトがデータベースディレクトリを自動作成するように変更
  - 既定で ldapi を有効化
  - AIX パッケージの SASL を有効化
  - dynacl オーバーレイを有効化
  - contrib の一部のオーバーレイのビルドを修正
  - pw-netscape 及び pw-sha2 オーバーレイを有効化
- 2011年12月5日 osstech-openldap-2.4.25-42
  - International Components for Unicode(ICU)をビルド時にリンクしないように修正

## 3. コミュニティ版との差異

OSS テクノロジー提供の OpenLDAP 2.4.44 はコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.44 と以下の差異があります。

### 3.1 OSS テクノロジー提供 OpenLDAP に独自で適用している修正

- パスワードポリシー(履歴)の仕様改善
- Berkeley DB 内のデータサイズ確認コマンドの追加
- OpenLDAP のログファイル出力設定を追加
- slapd.conf を OSSTech 版の設定に変更
- OpenLDAP 公開関数と変数を OSSTech 版固有の名称に変更
- AIX 6 の Workload Partition(WPAR) 利用時に一般ユーザーが /dev/urandom をオープンできないケースに対応
- スキーマファイルの追加
- PBKDF2 パスワードハッシュモジュールの追加
- パスワードを Active Directory と同期するオーバーレイの追加
- autogroup オーバーレイのバグ修正パッチ

### 3.2 OSS テクノロジー提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

- ldaprc ファイルを利用しないように修正
- setgid が実行されている場合にユーザー設定を読み込まないように修正
- slapd を位置独立実行形式(PIE)でビルドするように修正
- slaptools のシンボリックリンクを同一ディレクトリの slapd を指定して作成するように修正
- Perl、SQL のライブラリを直接リンクしないように修正
- リエントラントでない関数 gethostbyname()/gethostbyaddr() が繰り返し呼ばれた際にデッドロックが発生する問題を修正

### 3.3 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ

- slapindex が root ユーザーで実行された場合に警告を出すように修正
  - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=5356>